

迎春



発行 国立市公民館 〒186-0004 国立市中1-15-1
☎ 042-572-5141 FAX 042-573-0480 休館日：毎週月曜日

講座参加者の声

(1～3ページ)

〈図書室のつどい〉

「小商いのすすめ—『経済成長』から『縮小均衡』の時代へ—」 自らの意志と責任で選択する「大人の国」へ

隈井 裕之 (西)

人口減少に突入する日本

図書室のつどい「小商いのすすめ」と題した平川克美さんの講演会は、部屋いっぱい聴講者であふれていた。

平川さんがスライドやホワイトボードを使いながら、これから日本が直面するさまざまな困難について説明していく。GDPを支えるのはその国の人口である。しかし日本の人口は2006年ごろをピークに減少に転じた。人口減少が民主主義の完成と引き換えに起きるのは必然、経済成長しない縮小均衡という事実を直視し、どうするか戦略が必要だ。このパラダイム転換(これまでの認識からの脱却)に、我々はどう対峙していけばいいのか。私を含め、参加者の質問に丁寧に答えていただいた。

私の世代の立ち位置は…

ちょうど50才になった私は逃げる世代かと思っていたが、平川さんによれば、30代以下は苦難を乗り越えた後の恩恵に浴する可能性があるものの、40代、50代は難しいと言われた。しかし、20歳を過ぎるまで高度経済成長期を過ごした私はまだ恵まれている。たじろぐことできない未来予想図の中に、自分の立ち位置を確かめ

ようとする若い質問者の、問いつめるような眼差しが印象的だった。父も私も借金で新築のマイホームを購入し、滞りなく返済することができた。物価も上昇した一方、経済成長により金利以上に収入が増えていった。

翻って現在、デフレーション、収入減少の流れにあつて、マイホームは再び「夢の」と形容される貧しい時代に戻ってしまったかのようだ。いや、その発想そのものが縮小均衡の時代にはふさわしくない、と平川さんは言われるのかもしれない。

次世代への責任

書籍『小商いのすすめ』では、この時代的混乱に追い打ちをかけるように起きた一昨年の震災と原発事故について、当初の執筆プランを大きく変える衝撃を与えたできごととして取り上げられている。

本書の中では原子力安全神話を「擬制」と形容している。私はそのことをうすうす感じていたが、そのような災厄の前に「死ぬ」と根拠なく信じていた無責任極まりない大人であることを告白する以外にない。そしてそれは、50代は逃げきれないと先に書いたことに通底することに気づかされた。「100年安心」の類の神話、「想定外」



平川さん「本来、責任のない所に責任を持つ。この価値観が大切。」

の一言で片付けられるであろう少子化・低金利・低成長などの見込み違い、小手先の修正案で「安心」を印象づけようとする識者、過去に箱モノで失われた積立金や、いまだに作業の続く名寄せ問題などの責任所在の曖昧化と組織の看板の掛け替えなどなど、年金問題は、原発事故の時間軸をうんと引き伸ばしたものにすぎないのではないか。茹でガエル※となりまたも次世代へのツケを残すことのないよう、小さなことも自らの意志と責任で選択していく「大人の国」に共感させられた講演であった。(昨年9月28日(金)に実施しました) ※ビジネスで用いられる警告のひとつ。カエルを水に入れ少しずつ温度を上げると危機的な状況になってもそれを受け入れてしまふという例え。

* 講座参加者の声 *

〈男性の料理教室〉

料理で子どもと
思い出作り

尼崎 英明(東)

「はい、では今日も皆さん楽しくお料理を作っていきますよ」という講師の北川みどり先生のあいさつではじまる「男性の料理教室」には、いつも気楽に楽しく参加しています。

もともと食べるのは誰にも負けないぐらい好きですが、作るほうはほとんど経験がなく、料理教室など全く縁遠いものだと思っていました。公民館だよりでたまたま記事を発見し、週末に自宅から自転車で5分間程度の場所で開催される企画、それになんと言っても70円〜800円程度というお得感一杯の参加費用に惹かれ、思い切って申し込みました。

この料理教室では毎回4、5人のグループに分かれて、あらかじめ用意してくれている材料から、前菜、スープ、メインにデザートも含めた4〜5品の料理を北川先生の説明に従って分担して作りま



みんなで「いただきま〜す!」

す。それを皆でおいしく食べて、最後に片付けをして帰ります。隔月で開催されていて、誰でも都合の良い回に気楽に参加することができます(約3時間程度)。

おすすめは夏に開催される親子料理教室(男性と子どもや孫のペアで参加)だと思っています。昨年はフレッシュトマトスパゲティを親子で作りましたが、トマトを焼いて、皮を一生懸命にむいたりしたことが良い思い出となっています。今年はハンバーグ、トマトサラダ、オクラのスープ、マッシュマロクリームフルーツミックス(デザート)でした。ふだんはほとんど食事の手伝いをしない二人の息子と参加しました。同じグループに参加された親子と一緒に役割を分担して、料理を作る楽しさと自

〈シネボックス〉公民館映画会

私の知らない
世界と出会う

服部 葵(東)

ただ映画が好きというだけです。毎月CINEVOXに参加しているわけでもありませんが、月に一度、第四日曜日の午後に映画が上映されていることを紹介したいと思います。

公民館の地下ホールは傾斜がなく、後の席は見にくいですが、それにシートは普通の折りたたみ椅子なので、映画鑑賞するには極めて座り心地がわるい。けれども映画が始まって引き込まれていくと不

分たちで作ったものを食べる楽しさ、それと毎日食事を作る母親の大変さを息子たちとも少し共有できたのではないかと思います。皆さんも一度気楽に参加をご検討されてみてはいかがでしょうか? *

次回(2月17日(日)に、南市民プラザで実施予定です。詳細は次号の公民館だよりをご覧ください。

都合さは消し飛んでしまいます。『英国王のスピーチ』(イギリス

・オーストラリア合作 2010

年)が上映された日曜日ほどしゃ降りでした。英国王ジョージ6世を、吃音に悩む一人の人間として描いた作品なのですが、この映画はかねがね評判でした。アカデミー作品賞、主演男優賞もとついで、大雨にもかかわらず満員でした。上映中、会場では何度も笑い声があがりました。ラストシーンにかぶせられた音楽も圧巻だったと思います。

一方公民館では、ドキュメンタリー映画も上映されます。地味というかまじめというか、こういう映画の日は観客はやや少なめです。私自身行こうかどうかと迷

います。気が重いな、という感じ

です。 ケア付き福祉施設を舞台にした

『ただいま それぞれの居場所』(2010年)のときもためらいました。体が不自由になってしまった高齢の男性が(私も高齢なのですが)、世話をしてくれる青年にすごい血相で抵抗する姿が撮られていました。何かを突きつけられるようで、逃げ出したい気持ちでした。でもこの日、この記録映画が見られてよかったです。私から思いました。そこには私の知らない、しかし決して自分には関わりがないとはいえない世界が映し出されていました。

監督の情熱、シナリオライターやカメラマン、演じる人、それらの結果で映画は作られます。編集作業を経て完成した作品を、今度は観客が自由につないでいく。

「公民館だより」を受け取ると、CINEVOXのところを見て、今月はどんな映画を選んでくださっているのかしら? とたしかめます(月によっては、シネマトークもあります)。映画はやはりスクリーンで見ると迫力があるし、テレビ画面では気がつかない細部も見えてきます。何といたっても家から歩いて行くことのできる無料の映画館なのです。



「ただいま」シネマトークの様子



フラッシュカードを使って勉強中

＊講座参加者の声＊

〈生活のための日本語講座〉
やっと
勉強できるように
なった日本語
 堀田 ロッシェル(富士見台)

わたしは堀田ロッシェルといいます。2007年11月にフィリピンからきました。わたしは日本にきてからずっと日本語を勉強したいと思っていましたが、小さい子どもが二人いて、まだ手がかかる

のでいそがしく、子どもが少し大きくなるまで日本語を勉強するのを待たなければなりませんでした。上の子が幼稚園に通いはじめてからも、友だちから公民館に日本語の講座があることをきいていました。すぐには行けませんでしたが、日本語のクラスと幼稚園のスケジュールをあわせるのがむずかしかったからです。幼稚園は帰りの時間がはやかかったり、会議がたくさんあります。でもいまはだいたいじょうぶ！ 義理の母がたすけてくれることになりました。

わたしはやっと日本語のクラスに出席できるようになりました。下の子は保育室にあずけて勉強をしています。最初はあずけるときに保育室の入り口で泣いていましたが、しばらくすると保育者の方やほかの子どもたちにもすぐになれるあいだ、元気にあそんでいるようです。いまは勉強する時間ができていあわせです。

わたしは公民館の日本語の先生たちの授業のすすめ方が好きです。先生たちは黒板やCD、テープ、フラッシュカードをつかって、教科書にのっていない文例もくわしく、わかりやすくおしえてくれるからです。日本語を、読むこと、書くこと、書くこと、はなすこと、それぞれがうまくできるような、ていねいなおしえてくれます。日本での生活でひつような日本語を基礎からしっかり勉強することができます。公民館の日本語の先生は皆とてもいい方がたです。

わたしは、はなすことが一番むずかしいです。また子どもの幼稚園のおしらせを読むことがむずかしいときがあります。でもいまは先生や家族や友だちがサポートしてくれるので、心強いです。

まなぶことはとても刺激になり、たのしいです。このような機会をあたえてくださって、どうもありがとうございます。

(※一部ひらがなを漢字にしています)

＊公民館では「生活のための日本語講座」を火曜日から金曜日に行っています。学習者のレベルに合わせてクラスを分けています。

・火曜日 朝：入門、初級Ⅰ
 ・火曜日 夜：入門、会話
 ・水曜日 朝：初級Ⅱ
 ・木曜日 朝：入門
 ・金曜日 朝：初級Ⅱ

日程など、詳細は公民館にお問合せください。

〈図書室のつどい〉
 オッパ
北朝鮮へ渡った兄たちへ
 —「帰国事業」と『かぞくのくに』をめぐって—

講師 ヤン ヨンヒ (映画監督)

1959年から1984年にかけて行われた「帰国事業」によって、多くの在日コリアンとその家族が「地上の楽園」とうたわれた北朝鮮へ渡りました。

「私たち家族の歴史は『帰国事業』とともにあると言っても言い過ぎではない」

兄3人が「帰国」し、自らの家族の姿をカメラに撮り続けてきた映画監督ヤンヨンヒさんは、著書の中でこう述べています。ドキュメンタリー映画『ディア・ピョンヤン』や『愛しきソナ』、また昨夏公開され国内外で話題を呼んでいる劇映画『かぞくのくに』で、国家とは何か、家族とは何かを問い続けてきたヤンさんにお話をうかがいます。

〈ヤンさんの本〉『兄—かぞくのくに』(小学館)ほか

とき 2月2日(土) 昼2時～4時
 ところ 公民館 地下ホール ＊ご自由においでください。

くにたち野鳥観察団
 — 冬鳥観察会 —

公民館では近年、冬鳥の観察会を行っています。多摩川の河川敷やハケ沿いを歩きながら、冬鳥たちを観察します。

また、昨年の講座参加者有志とともに、毎月1回調査を行っています。その様子も紹介します。

さて、どんな冬鳥たちに出会えるのでしょうか。

講師 相馬 尚教
 (府中市郷土の森博物館 自然観察指導員)

とき 1月19日(土) 朝9時半～11時半ごろ
 ところ 多摩川河川敷、ハケ沿いなど
 集合・解散 立川バス「国立操車場」バス停
 持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等
 定員 25名(先着順)
 申込先 公民館 ☎(572) 5141
 ＊少雨実施。雨天の場合は郷土文化館で映像を見ながら、お話を聴きます。

〈青年講座〉「目指せ、山料理！」
初心者登山部 セカンドシーズン 参加者募集



登山に興味があるけれど、山の知識がない、山の装備がわからない、山仲間がいない…。そんな方の登山のきっかけになり、初心者でも山で楽しみを見つけられる部を目指します。

目標は山頂でおいしい料理を作って、みんなで食べることに。至福の時間を一緒に味わい楽しみましょう。参加をお待ちしています。

* 2年前前から活動している、青年室の活動の一つです。

- ▲ 1回目 1月26日(土) 昼3時～5時
企画者と参加者で山についてのミーティング
 - ▲ 2回目 2月23日(土) 昼3時～5時 登山準備会(登山計画、メニュー、持ち物など)
 - ▲ 3回目 春山登山
- ※ 3回目の日程は、皆さんと決めていきます。

ところ 公民館 1階青年室 ※3回目は屋外
対象 高校生～30代の方
定員 10名
申込先 公民館 ☎ (572) 5141



シネボックス (CINEVOX 公民館映画会)
映像で見る
名作絵本の世界

今なお読み継がれる名作絵本を映像化した、心暖まる珠玉のファンタジーアニメ4本を上映します。

上映作品

- 『木を植えた男』
1987年 カラー30分
原作 ジャン・ジオノ
監督 フレデリック・バック
- 『クラック!』
1981年 カラー15分
原作・監督
フレデリック・バック
- 『スノーマン』
1982年 カラー28分
原作 レイモンド・ブリッグス
監督 ディアンヌ・ジャクソン
- 『グランパ すてきなおじいちゃん』
1989年 カラー27分
原作 ジョン・バーニンガム
監督 ディアンヌ・ジャクソン



とき 1月27日(日) 昼2時～3時40分
ところ 公民館 地下ホール
定員 85名(当日先着順)
* ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈若者のための創作講座〉
はじめての銅版画
—Etching Work Shop—

何を描く? どう描く? 何ができる? どんな風にできる? そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷る技法です。

今回は、この腐蝕法による凹版のエッチングで、小さな作品を作ります。

仲間とともに作る作業の時間を楽しみながら、創作・表現してみませんか。



講師 山本 佳奈枝(銅版画家)
坂田 季代子(絵本作家、銅版画家)

とき 2月9日、23日、3月9日、16日
いずれも土曜日 昼2時～5時

ところ 公民館 3階実習室
定員 10名(先着順)
対象 原則休まずに出席できる方(定員を超えた場合、30代までの方を優先します)

材料費 千円(ニードル、銅板、版画紙など)
持ち物 エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具、8×10cmの下絵(タテヨコ自由)

申込先 1月9日(水) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈青年室活動〉

若者のためのもちつき大会

公民館の1階にある青年室で企画・運営している、若者による若者のための「もちつき大会」です。準備からみんなで一緒にやってみませんか。お気軽にご参加ください。



とき 1月27日(日) 昼1時～4時ごろ
対象 中学生～30代の方
ところ 公民館 南側駐車場 ※雨天実施
申込先 公民館 ☎ (572) 5141

みんなで考えよう!

孤立しない・させない 高齢社会を支える地域の「絆」づくり

ゲストスピーカー ^{いかい}猪飼 周平 (一橋大学)
事例紹介 高齢者支援課職員

たとえば近所で、病気を抱えた高齢者が一人暮らしをしていたら。たとえば家族が認知症になったとしたら。

超高齢社会に向かう現在、保健・医療・福祉の分野でも、関係が希薄化した地域に、「つながり」が取り戻されていくことが期待されています。

この講座では、市内で実際に起きている具体的な事例を考えながら、そこに隠されている課題に対して同じ地域で暮らす私たちはどう解決していくことができるのか、皆さんと考えていきます。誰もが暮らしやすい地域のために、これからの「絆」のカタチを探ってみませんか。

〈猪飼さんのプロフィール〉

専門は社会政策・医療政策。「人が暮らしたり、それを支えたりするということはどういうことか」に最大の関心を持って研究。著書に『病院の世紀の理論』(有斐閣)。

と き 2月3日(日) 昼2時~5時

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(先着順)

申込先 1月9日(水) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

共催 高齢者支援課



〔地域史講座〕

まちの歴史を探る・迎る くにたちの崖線・古道の今昔

国立の町は平坦な地形にあるように見えるけれど、実は崖だらけ!? 東京凸凹地形研究の第一人者のお二人を講師に迎え、各種の地図から市内及び周辺の崖線や道と地名の今昔を探ります。お気軽にご参加ください。

〈第1回〉「東京と国立周辺の坂と崖線をめぐって」

と き 1月26日(土) 朝10時~12時

講師 芳賀 ^{ひらく}啓 (「之潮」代表、国分寺市在住)

〈芳賀さんの本〉『江戸の崖、東京の崖』講談社ほか

〈第2回〉「地図と地名に見る多摩地区の道」

と き 2月16日(土) 朝10時~12時

講師 今尾 恵介 (日本国際地図学会、日野市在住)

〈今尾さんの本〉『地図で読む昭和の日本』白水社ほか

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(先着順。なるべく両日参加できる方)

申込先 1月8日(火) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

〈作家と作品〉

芥川龍之介を読む

この講座では、複数回をかけて作家の生涯をたどりながら作品を読むことにより、作家と作品への理解を深めていきます。

今回は昨年生誕120年を迎えた芥川龍之介の短編を、系統別に読んでいきます。

毎回ともはじめに皆さんから感想や疑問点を聞き、その後に講師の解説を聞きます。他の人の感想を聞くと、一人で読んでいたのでは気づかなかった視点に驚いたり、作品の魅力を再発見したりすることがあります。

芥川作品に長く親しんできた方も、子どものころ読んで以来触れていないという方も、ご一緒に読んでみませんか。

講師 山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)

① 1月25日(金) 「羅生門」「鼻」

② 2月8日(金) 「地獄変」「蜘蛛の糸」

③ 2月22日(金) 「蜜柑」「トロッコ」

④ 3月8日(金) 「蜃気楼」「歯車」

※各回で取り上げる作品を、事前に読んできてください。

時間 いずれも夜7時~9時(全4回)

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(先着順)

申込先 1月9日(水) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

〈くにたちブッククラブ さまよえる心と言葉2〉

津村記久子『ポトスライムの舟』

(講談社文庫)

講師 金井 景子

(早稲田大学・日本近代文学)

と き 1月10日(木) 夜7時半~9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*事前に作品を読んできてください。

*今年度のくにたちブッククラブは、今回が最終回です。



介護短歌 作品展

講座「介護短歌、はじめませんか」(昨年7月~9月、全2回)では、介護体験やそれぞれの思いを短歌にまとめました。

小谷あゆみさんを講師に涙と笑いの講座でした。作品をご覧いただき、地域の方々にも気持ちを共有してもらえたらと思います。

ぜひ見に来てください。

と き 1月24日(木) 朝9時~

1月31日(木) 昼12時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

南市民プラザで親子向け講座を行います

(親子で遊ぼう・考えよう in南市民プラザ)
身近なもので理科実験あそび

親子でびっくり体験しよう!

親子で楽しく理科に触れる講座です。
今回は家庭にあるものを材料に、身の回りの現象に興味津々になる楽しい実験をします。静電気を貯めたり、物を浮かせたり…。みかんを使った驚く理科実験も予定しています。ぜひご参加ください!

講師 亀沢 知夏
(東京学芸大子ども未来プロジェクト) ほか

とき 1月26日(土) 朝10時~12時
ところ 南市民プラザ 多目的ホール
対象 子ども(4歳~小学生)と保護者
定員 25組(先着順)
申込先 1月8日(火) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

第29期国立市公民館運営審議会発足

公民館運営審議会は、市民の立場から公民館事業などについて調査・審議する委員会です。
第29期の委員が選出されました。

(任期：平成24年11月1日から平成26年10月31日まで)

	氏名	所属・役職(推薦団体・機関)
1	戸井田展	国立市立小・中学校副校長会
2	岩知道浩子	彩
	大井利雄	文学講座連絡会
	長田利信	公民館利用者連絡会
	佐藤節子	まちの財政を学ぶ会
	佐藤ミエ	心遊会
	鮫島恭江	手をつなぐ親の会
	志賀 明	泉2丁目アパート自治会
	志村泰宏	国立市商工会
	丹野春香	青年室利用者連絡会
3	間瀬英一郎	まほうのランプ
	山家悠紀夫◎	希望社会研究会
3	石井直美	青少年育成四小地区委員会
4	杉野聖子	国立館大学文学部教育学科非常勤講師
	山田哲也 ○	一橋大学大学院社会学研究科准教授

◎は委員長、○は副委員長

(注) 1:学校教育関係者 2:社会教育関係者
3:家庭教育関係者 4:学識経験者

わらべうたで子育て

—あそびで子どもは育つ—

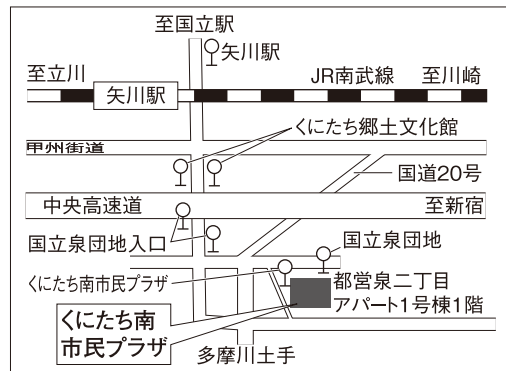
講師 坂野 知恵(わらべうたのワークショップ、
わらべうたライブで活動されています)

わらべうたは、子どもが大好きな遊びです。
わらべうたを子育てに生かしましょう。
親子でご参加ください。



とき 1月24日(木) 朝10時~11時
ところ 南市民プラザ 和室
対象 子ども(0歳~3歳)と保護者
定員 20組
申込先 1月8日(火) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

南市民プラザ付近の地図



親しみやすい公民館だよりをめざして

第14期公民館だより編集研究委員会発足

公民館だより編集研究委員会は、委員を含め、8名で活動していきます。皆さんの公民館だよりについてのご意見、ご感想などを公民館までお寄せください。

今まで12期24年間続けられ、12月より新たに14期がはじまりました。先月の公民館だよりのまとめにもあるように、月一回定例会を開催し、公民館だよりについて感想や意見の交換、サークル訪問の欄の作成などを行います。

第14期公民館だより

編集研究委員会

武内法行(委員長)
小原正子(副委員長)
*石井直美 *大井利雄
*長田利信 島本優子
富田和枝 三好紀子
*は公民館運営審議会選出委員

ひろば

(8ページにもあります)



初夢

撮影 小泉智男さん(中)

「WING」1月の定例会は、「インドの文化と諸事情」について電氣通信大学・留学生のアニル कुमारさんにお話を聞きます。質疑応答がはずむ楽しい会です。
日時 1月17日(休)夜7時～9時
場所 一橋大学内 国際交流会館
連絡先 芦沢(576) 0474

主に初心者が楽しく稽古をしています。伝統芸能である能の謡と舞を学んでみませんか。大声を出して健康増進にも役立ちます。和の心を再発見しましょう。柏樹会
日時 第二、四月曜日 夕6時
場所 東地域防災センターなど
連絡先 細瀬(572) 7904

第175回くにしんぼクラブ ハンナさんのフィリピン料理

フィリピンの代表的なスープ、シニガンとデザートを教えてください。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。
日時 1月20日(日)昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

水泳クラブ「紫水会」会員募集

冬来りなば春遠からじ。年頭の計、今年こそ一念発起、楽しく泳ぎませんか。公認コーチが泳力別に丁寧な指導。老若男女、仲間はたくさんいます。体験にどうぞ。
日時 毎週火曜日 昼2時～4時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 荒木(575) 6467

能の謡・能の舞(観世流)

ポスト「3.11」社会のカタチ 私たちのオモイ 第3回

私たちの社会とエネルギー

～歴史の理解と未来への想像力～

講師 相川 高信

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

とき 1月19日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(先着順)

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

〈人権講座〉

裁判員制度は、いま

講師 後藤 昭(一橋大学)

裁判員制度が始まってから3年が経過し、これまでに裁判員裁判で4千人以上の被告人に判決が言い渡されました。裁判が身近になり、司法に対する理解と信頼が深まることが期待されて始まった裁判員制度ですが、いまだに、身近な問題として捉えている人は多くないかもしれません。

後藤さんは著書の中で「あなたが裁判員として裁判をすることは、自分たちの問題を自分たちで解決することを意味する」と述べています。

現在の裁判員制度はどのようなものか、どのような課題を抱えているのか、皆さんと考えたいと思います。
〈後藤さんの本〉『新版 わたしたちと裁判』(岩波書店)

とき 2月10日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 30名(先着順)

申込先 1月10日(木) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

来年度、保育を希望するグループは お知らせください

公民館には公民館保育室があり、公民館で活動する市民グループの中で保護者が乳幼児を預ける必要がある場合、保育を行います。

来年度(2013年4月～)に保育を希望するグループ、考えているグループは1月31日(木)までに公民館へお知らせください。



公民館運営審議会報告

12月11日(火) 第2回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名が出席。傍聴3名。

前回の議事録確認

報告事項

○公民館だより編集研究委員会

11月30日開催。12月号の一面で紹介されている事業は、目新しい等の意見あり。

○社会教育委員の会

11月20日開催。答申案のまとめを行っている。

○東京都公民館連絡協議会

12月9日、東村山市公民館において、研究大会を実施。250名が参加。参加委員から大会の様子について報告あり。

○研修

「公民館について」平林正夫氏(元教育次長、現くにたち文化・スポーツ振興財団常務理事、公民館にも15年間勤務)のお話。①社会教育と生涯学習の変遷と私。②公民館、社会教育について。③これからの公民館について。「寺中構想」「枚方テーゼ」「三多摩テーゼ」。④公民館運営審議会の役割など資料をもとに説明あり。その後質疑応答。

次回は1月8日(火) 午後7時15分から。傍聴歓迎。(佐藤ミエ)

ひろば

(7ページにもあります)



今月の公民館 (1月、2月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 10日(木)夜 くにたちブッククラブ
「津村記久子『ボトスライムの舟』」
- 19日(土)朝 「くにたち野鳥観察団-冬鳥観察会-」
- 24日(木)朝 「わらべうたで子育て」
- 24日(木)朝~31日(木)昼 「介護短歌 作品展」
- 25日(金)夜~作家と作品「芥川龍之介を読む」
- 26日(土)朝~「くにたちの崖線・古道の今昔」
- 26日(土)朝 「身近なもので理科実験あそび
親子でびっくり体験しよう！」
- 26日(土)昼 初心者登山部「目指せ、山料理！」
- 27日(日)昼 「若者のための もちつき大会」
- 27日(日)昼* CINEVOX 公民館映画会
「映像で見る名作絵本の世界」
- 2月2日(土)昼* 図書室のつどい
「北朝鮮へ渡った兄たちへ」
- 3日(日)昼 高齢社会を支える地域の「絆」づくり
- 9日(土)昼~ 「はじめての銅版画」
- 10日(日)昼 「裁判員制度は、いま」

「公運審のあり方」を読む会

10月に出た前期公民館運営審議会(公運審)の報告「公民館運営審議会のあり方について」を公運審委員長山家悠紀夫さんの解説を聞き、読みます。公民館を守る会
日時 1月20日(日)昼2時~4時
場所 公民館 3階和室
連絡先 杉原(57) 0124

「ひまわりの会」へのお誘い

童謡・唱歌・叙情歌・世界の歌を楽しく歌いませんか。芸大音楽科卒の山岸公子先生がやさしく指導してくださいませ。見学大歓迎。ご連絡をお待ちしています。
日時 第二、四水曜日 朝10時
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 新里(57) 1062

フルートアンサンブル会員募集

アンサンブルの魅力を追求するとともに、メンバーの和を大切にしていきます。先生の指導を受け、演奏技術の向上を目指しています。国立フルート「桜音の会」
日時 毎月第二、四水曜日夜6時
場所 公民館 音楽室(予定)
連絡先 西村(90)(1210) 2640

2月より、ロビーの利用申込みが2カ月前から行えます

会場の利用申込みは使用の前月第一土曜日から受付けていますが、2月からは、ロビーの利用に限り、利用の2カ月前から行えるようになります。

3月・4月利用分

調整会参加票投入期限

本申込受付：2月2日(土) 1月31日(木)

5月利用分

調整会参加票投入期限

本申込受付：3月2日(土) 2月28日(木)

※他の会場の受付開始日は、これまで通りです。
ご不明な点は、公民館までお問合せください。

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。

公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。

会員募集は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。

〈サークル訪問256〉

国立市ラジオ体操会

さくら通り沿いにある谷保第三公園。ここでは25年も毎朝、6時30分からラジオ体操が行われている。ざっと数えてみても100人以上が参加している。

「年中無休、土日祝日もお正月もやっています。雨の日は中止になりますけれど」というのは今年74歳になる代表の亀田靖子さんだ。

参加は自由。会員に登録する必要もない。毎朝散歩がてらにやっつけて体操していく人が多数だ。

「参加しやすいのが魅力なんです。でも皆さん『3日間続けたらやめられなくなる、体調がよくなる』とおっしゃるんです」



早朝から身体を動かし、さわやかな一日が始まる

「参加しやすいのが魅力なんです。でも皆さん『3日間続けたらやめられなくなる、体調がよくなる』とおっしゃるんです」

中には「パーキンソン病になってしま今は車いすだが、上半身だけでもいいから体操をしている」という男性や、府中や八王子から参加している人も。

「みなさんが言っているように、この会を一言で表すと『楽しい』に尽きます。一人暮らしで家にもつてしまっている方、明日から一歩外に出てみませんか」と亀田さん。

ラジオ体操第一、第二、中国体操を続けて20分。そのあと有志で20分間、懐かしい童謡などをハーモニカの伴奏つきで歌う「声を出そうよ歌おうよ」が続く。

「高齢になって一番いけないのが家にこもることなんです。体操

をして大声で歌える場があるのは大切です」

参加者の声でも「毎日楽しく参加しています。歌も楽しいです、」

「すぐそこに住んでいるのですが、ホテルの歌が聞こえてきて思わず参加しました。朝から楽しいです、」

「北口から引越してきて5年。ラジオ体操で友だちがたくさんできました。毎日が楽しい。雨だどがっかりします、」朝のリズムがよくなりまして。声が出るようになりましたね。」

す。一人暮らしで家にもつてしまっている方、明日から一歩外に出てみませんか」と亀田さん。
連絡先 亀田(57) 2137
〈文・写真 松本 陽〉